

毎月病院の インフォ 配布!	年間予防スケジュール	
1月	1～3月は連続3年以上予防来院で スケーリングの特別割引があります！ この機会にピカピカの歯になりましょう！	
2月		
3月	健診が3月から スタート！	新しい新聞が 月末に出ます！
4月	春の健康診断	検査は3月 から開始！ 終了は6月 末です！
5月		
6月		
7月		フィラリア予防
8月	☆お盆休みはあり ませんよ！	ノミ・ダニ予防
9月	☆来年のカレンダー を配り始めます	
10月	秋の健康診断	春忘れた方 や 春の続きに
11月		
12月	☆年末年始の休みは1・2日のみです！	

★予防、フードでポイント進呈！貯まれば500円割引に！
★予防薬のおまとめ購入には個数（5月末まで）プラスの
オマケあり！

ゆう動物病院新聞



平成28年号

発行 ゆう動物病院
〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103
TEL. (075)681-5300 / FAX. (075)681-5300
URL: <http://www11.plala.or.jp/>

去年宣言した通り、ダイエットに成功しました！まあ6kgなんですけど……それでも中年男性が到達するにはナカナカ大変な数字と自画自賛です(笑)。元々空手の鍛錬を毎日していましたけど、それでも寄る年波のせいとか、代謝率が悪すぎで？普通に食っていれば貯金(脂肪)が増えるのみ……思い切って炭水化物をカットしました！最初は一食からスタートしましたが、あまり変わらずついに三食へと……三か月位で達成して、それでやっと変わりました。最初は非常に辛かったのですが、今となっては習慣になって普通になりました。やっぱり何事も一発逆転ではなく、コツコツと習慣としてする事が大切だな、と痛感しました。そして日頃は炭水化物を摂らなくても、週末など外食では普通に食べるなどメリハリも大切です。ストイックさは大切ですが、思い詰めるレベルだと結局は続きませんし、何より不幸せです(まあ自分に甘いんです)。仕事も同じ様にコツコツ習慣として頑張ります。メリハリも付けて楽しく頑張ります！何をか……は巻末を見て下さいね。

院長 森本真一郎

- 年間お得パスポートは
ご利用して下さいね！
賞われましたか？
- ①年間の病院の流れが分かる表が載っています。駐車場案内も分かり易いと思います。
 - ②フィラリア・ノミダニ予防1種につき、毎月「爪切り・臭腺しぼり」が1種ずつ無料になります！
 - ③お誕生日日には更に耳掃除と全身チェックが無料です（誕生日不明は任意の月でOKです）！
 - ④春秋の血液検査付の健康診断を受けた時には更にエコー・レントゲンの検査等を各種割引！
 - ⑤連続3年以上予防（何でも）の方は更に感謝を込めて以下の3つの特典を特別にお付けします。
- *コインパーキングの補助（1回500円まで）
 - *週3回を超える連続来院は以後は再診代半額、往診の初回をお試しとして半額！
 - *1～3月のスケーリングは3000円割引！
- ☆個別にしていた幾つかのサービスチケットは統廃合されますので、ご注意下さいね。

☆健康診断のお得項目が増えてパワーアップしています！

大人になった犬猫さんは1年で人では4歳分の歳をとります（大型犬は7歳）！若くても年1回、そして猫・小型～中型犬は10歳、大型犬は7歳になったら年2回は動物病院で健康診断を受けてみましょう！色々とお獣医師に相談して下さいね！

～健康診断の流れ～

予約時に以前に問題があったり、中高齢だから……と腹部エコー検査も希望される場合は事前にお申し付け下さい。ゆったりと予約時間をお取りして対応します。

まずは相談

気になる事は色々聞いておきましょう。でも病気としての主訴や症状があれば、それは健康診断でなく通常の診察対応になります。

次にチェック

基本の血液検査でも再診代500円で全身のチェックと簡単なお手入れ（各種お手入れ）がついています！血液検査は最小セットでも実質16項目2500円と非常にお得！更に今年の血液検査では春も秋もシニア向けの特別な検査項目セットが非常にお得にできます！

今年は画像診断も？

今年何歳ですか？小型犬・猫さんは10歳、大型犬で7歳を目安に詳しい血液検査と共にレントゲンやエコー検査の追加をご検討下さい。これらは血液検査の結果によって追加で検討をしても良いでしょう。エコー検査は要予約です。

まずは身体検査と血液検査からだけでも良い習慣を始めてみましょう！

☆春・秋連続でされた方には特製の検査ファイルをプレゼント予定です!!

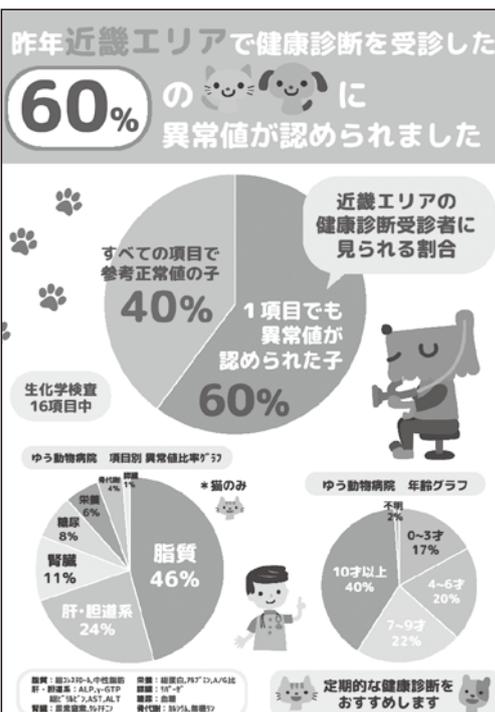
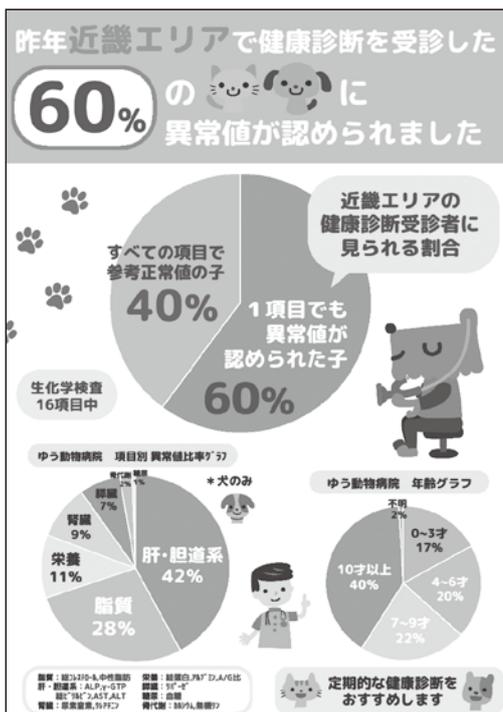
モノリス健診まとめコーナー

利用している検査センターのモノリスさんが当院に特別にまとめてくれた資料です！院内掲示と配布をしているので、既に知っておられるかも知れませんが、少しの異常はかなりの子で見つかります。ですので100点！の人は誇りに思って頂いて良いですが、何か引っかかっても、すぐに落ち込まないで下さいね。

当院では手書きのコメントをそれぞれの病歴も熟知した上で書いていますので、それをご参照頂いた上で、ご相談頂けたらと思います。

グラフで分かるのですが、結構若い頃から健康診断に参加されている方が多く半数弱にのぼります。若い時に検査する事で「健康時から白血球が凄く少ない子」などの健康の個性も分ります。詳しく見ると犬には脂質系の問題が多いですが、日頃の体重管理と共に血液検査時の半日絶食を忘れないようにしましょう。

猫さんの肝数値異常も体重管理が大事ですが、ご飯にも気を配りましょうね！



ゆう動物病院 年表

(去年より前の年はホームページのH25年新聞をご参照下さいね)

2015	2014	ハード(施設・物など)の変化
<ul style="list-style-type: none"> ● 大型液晶顕微鏡 ● 温風マット ● iPadとiPhone ● 待合液晶モニター ● 電子聴診器 ● 点滴器械 ● 電子決済端末コインーアルファトラック ● (新しい)血糖測定器 ● 新しいエコークッション ● スチーム滅菌掃除機 ● 新しい防御用手袋 ● 点滴用加圧バック ● モーズベイス ● (塗る)腫瘍脱落クリーム ● 動物用エコー針 ● 滑り止めマット ● 置き傘設置 ● 新しい本 ● (内科)鳥・ウサギ・亀・心臓・腫瘍・目・歯・尿) ● 新しくしたもの(クッション他) 電話・入院食器・バリカン他) ● 新しい耳鏡・検眼鏡 	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院水回り改善 ● スチーム滅菌機の導入 ● 各種専門本とDVD購入 ● 十種ワクチン導入 ● 外スノコの改善 ● 予約ボード製作と予約帳の改善 ● 新しい耳鏡ヘッド購入 ● 超音波洗浄機導入 ● 温水冷水マット導入 ● 診察マット改善 ● パンフレットリニューアル ● 健康手帳改訂 ● 病院プリント改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフト(活動・システムなど)の変化
<ul style="list-style-type: none"> ● ネット予約システム導入 ● 健康診断三月スタート ● 獣医師・看護師増員 ● 院内マニキュアル改訂 ● 輸血サポーター制度発足 ● 小学校講演 ● 院内セミナー増加 ● (後で別に報告あり) ● マイクロチップ助成事業 ● 院内プリント改訂 ● おすすめグッズプリント ● サプリのまとめプリント ● 液晶での啓蒙と紹介動画 ● HP症例紹介ページ増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● NJK(獣医専門誌)にて皮膚科診療の連載 ● 京都市獣医師会で症例発表し、宇根賞を受賞 ● ニフティペットにペットコラムの寄稿 ● フードの＋１キャンペーンを実施(春と秋) ● HP症例ページの増加 ● 獣医師と動物看護師の増員 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世の中の出来事
<ul style="list-style-type: none"> ● 一月 マクドナルド異物騒動 ● 三月 北陸新幹線開通 ● 七月 ピース又吉氏「火花」で芥川賞受賞 ● 九月 「安保法」可決 ● 十月 マイナンバー通知開始 ● 十二月 スターウォーズ7公開 	<ul style="list-style-type: none"> ● 二月 ソチオリンピック ● 三月 STAP細胞論文に不正発見 ● 四月 消費税8%に ● 七月 危険ドラッグ事故が相次ぎ発生 ● 十月 ノーベル賞に青色LEDの日本人三名が選ばれる ● 十二月 アベノミクス解散 	

★2016～2017年の予定★

何と言っても2016年は3月に市民フォーラムの講師をする事が大きなイベントです。半年がかりで用意をしてきましたが、無事に終われますやら……。さて無事に終わったのでしょうか……。詳しくは新聞の「2015年を振り返って」をご覧くださいね！改めて、色々な事に逃げないで挑戦する事は本当に大事だと認識する良い体験になりましたし、何より講演内容をまとめていく上で皮膚科診療に対して、より考えの整理ができた気がします。

またお忙しい時にご迷惑をお掛けしますが、5月末から1週位の予定でフランスの世界獣医皮膚科学会に出席をします。実際の医療の現場で一般的になる3～4年前に最新の皮膚科情報が手に入る貴重な機会です。ちょっとテロが怖いですが、積極的に吸収してきます！フランス語はもちろん英語もペラペラでは有りませんが、安心して下さい！もちろん同時通訳が有りますので聞けます(笑)。更に実は今大会の会場はボルドーでして、ボルドーと言えばワインのメッカ、その辺も正直楽しい楽しみです！酔っぱらったり二日酔いでセミナーが聞けなくなるんじゃないか？って言われたら、そこは僕も若干の不安があります……。が、もちろん頑張って聞きますよ！

その他にも今年は病院の皆でより積極的に勉強をして皆様に還元できる1年にしようと院内セミナー等も増やして、定期的に皆でレベルアップに頑張ります！そして拡張など根本的なハード改革ができる準備も進めます！

二〇一五年を振り返って



去年は当院も色々安定し、獣医師会を通して公益活動にも力を入れる事ができましたが、その中でも一番大きな仕事は二十年来の京都市獣医師会の念願の事業だった夜間動物救急病院の開設でした。

僕が京都市獣医師会で夜間動物病院の設立委員として二年近く準備をしてきました。それ以前に沢山の先輩が試行錯誤・ご尽力されていても、遅々として進まなかったのですが、門川京都市長が協力的で愛護センターの移動と合わせて、話がグッと前に進んだそうです。僕が夜間の委員になったのは幸いにも(?)そういう時期だったので、貴重な体験でした。

さて今回できた夜間病院は「京都夜間動物救急センター」と仰々しい立派な名前なんです。実は僕が名付け親です!.....とは言ってもアンケートで出た色々なキーワードからどの名前を選ぶかを皆で悩んでいた時に「じゃあ出たキーワードの京都も夜間も動物も救急も入れましょうよ!」つ

て言って、多数決で採用されただけなんですけどね(笑)。でもこれから先、全国に先駆けた立派な病院にすると言う京都市獣医師会の決意も入っていて、なかなか良いネーミングだと思っています。

この夜間病院は、本来ならば久御山に有る京都【府】獣医師会と関係のある夜間動物病院と合併して、人員も機器も理想的に備わった一大センターとして開設する事が市民の皆さんの為でもあり、僕たちの理想でもありました。が、ギリギリの所でお互いの思惑が一致せずに残念ながら立ち消えてしまいました.....詳しく言えない大人の事情という言葉なんです。が、正直言って僕的には不満で寂しい出来事でした。

で、更に本来ならば「一度この話は白紙に.....」と事業自体の根本的な立て直しをしても良かったのですが、そこも市長も絡んだ行政問題も有り、更に行政的な大人の事情で「何としても今年春に開院せよ!」って感じでした。まさしく不退転

の決意での見切り発車となりました。とは言っても、いい加減な掘っ立て小屋の様な病院を突貫で作って、冷蔵庫しか有りません!何て適当な病院では有りません!京都市から広大な素晴らしい場所を提供して頂き(家賃は発生しますが)、各種企業の協賛もあり、そして京都市獣医師会が長年に渡って貯蓄した数千万円が寄付として投入されたために、新規開業とは思えない豪華設備が整った夜間救急病院になりました。問題なのはハードでは無く、ソフトつまりマニュアルと人員です.....

なんせ当てにしていた久御山の夜間のスタッフは直前一月で不参加になってしまったので、僕達開業している人間が出るしか有りません。僕も朝五時位から自分の病院の仕事をし、診察が終わったら夜九時には夜間に行き午前二時に終了して.....ってスケジュールも有りましたが、微力ながら協力させて頂きました。もちろん最早そんな事が可能な年齢では無いので月に一回を目安にしていたのですが、その様な色んな先生(とは言っても京都市獣医師会の一部)のボランティアで何とか病院が回っていました。その内にある程度

出勤できるバイトの先生が決まり、そして今年の春からはついに専任の先生が2人の体制でのまともな夜間救急の運営ができる様になりました!とは言っても、正直綱渡りの現状です。京都市獣医師会が運営し支えるなら会員同士での連携を取れる体制を整備する必要があります。とありそうです。

とりあえず病院のすぐ近くに夜間病院ができた事は本当に嬉しい事で、この病院が本場の意味で夜間に診てくれる救急センターに成れます様に、京都市獣医師会の皆で頑張りたいと思っております。

さて本来ならば二〇一六年を振り返って.....に、なってしまうのですが、その準備をしていたのは二〇一五年を通してなので、二〇一五年を振り返ってに書くことと思うのが「京都市民フォーラム」での講師体験です。京都市民フォーラムも夜間動物病院の運営と共に京都市獣医師会の公益事業の1つなのですが、僕はその公益委員会の委員もしております。

基本的には各自が運営全体に携わるのですが、僕は「獣医師体験コーナー」と言う企画を立ち上げて運営した事も有り、例年は小中学生を相手に獣医師の仕事を体験して頂き僕達の仕事に興味を持って頂くというイベントのリーダーをしておりました。今年してあげれば三年目、さすがに慣れてきて今年には余裕だなと思っております。その所で「そろそろ皮膚科の認定医なんだから講演をしてくれない?」と言うお達しが.....そうです。僕は認定医を取得してからずっとこの要請から逃げ続けていたのです。

だって.....同じ獣医師の間で発表会をするだけでも極度に緊張する僕が、一般市民二〇〇人以上を相手に話をするとか、想像するだけで手足が震える思いです.....。実は昔は塾の講師をバイトでしていた事もあり、こういうのは特に緊張しなかったのですが、ここ最近.....と言っても七年位の間に大勢の人前で話す事に病的に緊張する様になったんです。と言うのも僕は開業当初に仕事を頑張らずに心身の病に成りかけたのですが(過去の新聞を参照して下さい)、この時に何か心が弱ってしまっただけで、大勢の人前に入るのが凄く怖く緊張する様になってしまったんです。なんせ一番酷い時は電車に乗って大阪に行くのが怖かった位ですし

た事も有り、例年は小中学生を相手に獣医師の仕事を体験して頂き僕達の仕事に興味を持って頂くというイベントのリーダーをしておりました。今年してあげれば三年目、さすがに慣れてきて今年には余裕だなと思っております。その所で「そろそろ皮膚科の認定医なんだから講演をしてくれない?」と言うお達しが.....そうです。僕は認定医を取得してからずっとこの要請から逃げ続けていたのです。

だって.....同じ獣医師の間で発表会をするだけでも極度に緊張する僕が、一般市民二〇〇人以上を相手に話をするとか、想像するだけで手足が震える思いです.....。実は昔は塾の講師をバイトでしていた事もあり、こういうのは特に緊張しなかったのですが、ここ最近.....と言っても七

年位の間に大勢の人前で話す事に病的に緊張する様になったんです。と言うのも僕は開業当初に仕事を頑張らずに心身の病に成りかけたのですが(過去の新聞を参照して下さい)、この時に何か心が弱ってしまっただけで、大勢の人前に入るのが凄く怖く緊張する様になってしまったんです。なんせ一番酷い時は電車に乗って大阪に行くのが怖かった位ですし

た事も有り、例年は小中学生を相手に獣医師の仕事を体験して頂き僕達の仕事に興味を持って頂くというイベントのリーダーをしておりました。今年してあげれば三年目、さすがに慣れてきて今年には余裕だなと思っております。その所で「そろそろ皮膚科の認定医なんだから講演をしてくれない?」と言うお達しが.....そうです。僕は認定医を取得してからずっとこの要請から逃げ続けていたのです。

だって.....同じ獣医師の間で発表会をするだけでも極度に緊張する僕が、一般市民二〇〇人以上を相手に話をするとか、想像するだけで手足が震える思いです.....。実は昔は塾の講師をバイトでしていた事もあり、こういうのは特に緊張しなかったのですが、ここ最近.....と言っても七年位の間に大勢の人前で話す事に病的に緊張する様になったんです。と言うのも僕は開業当初に仕事を頑張らずに心身の病に成りかけたのですが(過去の新聞を参照して下さい)、この時に何か心が弱ってしまっただけで、大勢の人前に入るのが凄く怖く緊張する様になってしまったんです。なんせ一番酷い時は電車に乗って大阪に行くのが怖かった位ですし

…：パニック障害手前って感じですね(苦笑)。だから話すなんでもつての他です！皮膚科の認定医になる為に義務的な発表や面接はこなしたものの、人の目も見れないしマシンガントークでただひたすらに原稿を読むのみでも、本当に辛かったので、今回の様な大勢の市民相手の講師のお話は想像もつかない大冒険で、丁重にお断りをしていました。した方がある意味で宣伝になるとは分かっていたのですが、無理でした。

では何故する事になったのか？それは色々あるのですが、根本的にはベストセラリーになった「嫌われる勇氣」を読んだからでしょう。これはアドラーさんと言う心理学者の考え方の話です。ユングやフロイトさんの心理学は有名ですが、この本が出るまではアドラーさんは基本的に忘れられた人で、浅学な僕も知りませんでした。その思想は簡単に語ると誤解を産む考え方ですので、ご興味のある方はまず読んで頂くのが良いのですが、その中で僕が非常に衝撃を受けたのは「トラウマ(過去)などは存在しない」と言う一節でした。

その心の傷がトラウマとなつて、人とコミュニケーションが取れなくなり、家に引きこもつてニートになつた…と一般的には説明がされますが、アドラーは完全これを否定します。人と話さなかつたり引きこもつたりしている人間は「その生活を選択する」為に「自分の過去から」その理由になりそうな出来事(虐待・いじめ)を持ちだしているだけだ…。人間の行動を説明できるのは「原因」結果でなく、結果の為に都合の良い原因を探したり創っていると言う考え方、これはコペルニクスの逆転の考え方です。そして人間は過去なんかには囚われない自由な存在なんだ！と言う凄く希望に満ち溢れた考え方であり、同時に「過去は一切言い訳にならない、あなたは常に主体的に未来を創り出せる存在だ」と言う非常に勇氣が溢れる厳しい考え方です。

さて原因が先か結果が先か、卵が先かニワトリが先かの議論に似ていますけど、どっちが正しいのでしょうか？僕も若い時に「真理って何だろう？」って、いっちょ前に悩んで哲学とか宗教を読み漁ったクチなんです。が、年々確信を持つている考えがあります。それは「真理がどうか？は時代や人によつて変わるものだ。大事なものは『それで幸せになるのか？』って事じゃないか」って考えです。哲学で言う「道具主義」って言うのに近いかも知れません。自分や周囲の人に都合の良い考えが真理かな？と。そう考えると、僕は過去に原因を求めて今の自分を慰撫する様な心理学よりも、アドラーの説く「じゃあこれからどうする？」って考え方と行動が自分や周囲を変えて幸せにすると思いました。つまり「過去のダメージで精神が弱つたから講演とかできないんだよね」とじゃなくて「講演するのが嫌だから、精神が弱つた事にしちゃおう…」だったなと自覚できました。ならする事は一つです。もうやっちゃおうか！と…ええ、後で何度も悶絶する位に激しく後悔しました(苦笑)。

それでも時は流れて期日は近くなつてきます。まずは色んなあがり症の本を読んで、上手な人の話を聞いてみます。うん、万全の準備をする事と練習をする事で不安を解消する王道しか無いな…と分かります。それから何度も原稿を練つて、少なくとも自分が満足いくまで準備をしました。練習はNHKの話方教室に行つて(見知らぬ人々の前で自己紹介や早口言葉をするのは本当に恥ずかしかつたです…)、ちょっとした発表をこなし、学会では積極的に質問をし負荷をかけつつ、まずは○人の小学生相手に講演をして慣らし、出身病院にお願いして沢山の勤務医さん達にセミナーをし、自院でもセミナーをし(実は身内に話すのが一番恥ずかしい)、地道に練習を重ねました。

■診察時間のご案内■

平日休み無しで、日祝の午後も予約診察します！

	平日	日祝
午前	9~12時	9~12時
午後	17~20時	12~17時完全予約

日祝午後は完全予約制になるのでご注意ください
 年末年始等・セミナー等による不定休は
 病院の掲示と毎月のインフォメーションや
 ホームページのトップのトピックス欄をご参考下さい。
 病院は基本的に無休ですが各獣医師の休診日は都度お確かめ下さい。



います。改めてこれから皮膚科では他の人に先んじた深めた獣医療がしたいとも思えました。これからの色々あると思うのですが、その時には過去や他人はさておき「じゃあ自分はどうしたいの？」と問いながら、自分で責任を持つて人生を創りたいな！と思えた出来事でした。

**ゆう動物病院 よく聞かれる、または
ぜひ知って欲しい20のQ&Aコーナー!!**



(改訂二〇一六年度版)

前回から新しいコーナーとしてQ&Aのコーナーを設けました。よく聞かれる事なので殆ど項目は同じですが、毎年色々改訂されているので読んでみて下さいね。その他に質問したい事があればどんなスタンプまで聞いて下さいね!

**Q①：駐車場は何台ですか？
駐車時の注意は何かありますか？**

A①：病院の駐車場は五台です。簡単なマップをご用意しています。大型は離れた駐車場が止め易いと思います。南側離れは駐車場間違いが多いので黄色いブロックと「お客様用」の表示を確かめてお止め下さい。去年からは近くのコインパーキングと契約し、五〇〇円までの補助券を出せる様になりました!七台の駐車スペースがありますので、ご活用下さいね。なお病院の前に止めると違反切符を取られたり、事故になる事が多いので危険です。

Q②：優先予約って何ですか？予約無しでもOK?キャンセルできますか?

A②：優先予約はその時間帯二十分以内でその方優先にお呼びする予約です。日祝午後だけは完全予約制です。日祝午後の他は予約は無くても良いですが、予約が無いと待ち時間が長くなる事があります。お呼

び出し時にご不在だとお待ちの方が優先され十分遅れるとキャンセル扱いになります。キャンセルの請求はありませんが来院されない場合はできるだけご連絡下さい。ただし完全予約の時間だけはキャンセルを避けて下さい。キャンセルが増えればキャンセル料を頂くシステムにしようと考えています。

Q③：先生の指名はできますか?

A③：指名は可能ですが、指名をすると予約しても順番を待つ事があります。ですので今回だけ指名とか、今回は誰でも良いとか、そういう使い分けも大丈夫です。各先生のお休みは受付までお問い合わせ下さい。ネットでも確認できます。またネットで御指名の場合はコメント欄への記入が必須です。病院の予約・指名システム等をご説明するプリントも用意しておりますよ。

Q④：どんな病気も治療しますか?

A④：最近では獣医療が高度化していて、二次診療と一次診療がハッキリと分かれてきています。それは眼科や神経科と言った科目もです。犬猫と小さな動物(ウサギ・フェレット・ハムスター等のエキゾチックアニマル)などもそうです。当院では皮膚科に強み置いて診療をしています。二、一般的な内科も殆ど大丈夫です。整形外科・脳神経・眼科等は手術や器具の必要性の状況に応じて適切な病院を紹介しております。

Q⑤：輸血はできますか?

A⑤：去年から輸血サポーター制度を作っています。サポーター様がいて、その時にタイミングが合えば可能なら……と言う状態です。供血協力をして頂けると、通常は非常に高価な各種検査を病院負担でしていますので、ご興味がある方は輸血サポーター制度のプリントで案内をご覧になり、供血にご協力下さい!個人的に供血動物さんをご用意して頂けたら輸血そのものは可能です。もし当院でも個人でも用意できない場合は、輸血が可能な病院を個人的に探して頂く事になります(ご紹介はトラブル防止の為にできませんので、御了

承下さい)。

Q⑥：窓口で保険やカードは何か使えますか?

A⑥：保険に関しては各種使えますが、窓口清算が可能なのはアニコムさんだけです。請求に必要な簡易書類への記入は無料ですが、場合によっては費用が発生します。カードはVISA・Master・DC・AMEX・jCB・Diners等が使えますが、AMEX・JCB・Dinersに関しては手数料の関係でなるべく他のカードでの清算をお願いしております。

Q⑦：できるだけ入院・通院しないで治療はできますか?

A⑦：ペットさんは残念ながら入院の意味を理解できませんので、当院では基本的にできるだけ入院しない方向で治療を進めます。ですので、入院を薦められた時は余程の必要性があると思つて下さい。その上で、入院のご希望が無い場合でも最善を尽くせる様に、在宅看護ができる点滴の機械や酸素、マニキュアなどの各種用意をしております。往診も一度来院された方には行っております。通院の場合も頻回になれば大変ですので、在宅で注射等ができる様にご指導して実行できる様にご用意をしていますので、ご相談下さいね。

Q⑧：ホテルとかの預かりはしていますか?

A⑧：入院ケージも少なく、預かり業の申請もしていませんので、ホテルとしてお預かりはできません。通院されている慢性病の子は検査を兼ねて入院する事がありますが、通常は救命等で入院が必要な子を優先します。

Q⑨：病院から何か定期的なお知らせはありますか?

A⑨：病院から何か定期的なお知らせはありますか? <http://www.tiplala.or.jp/yuu/>での掲示や病院アドレス ydoctor_email.ne.jp から登録すると送ってくるメールによる毎月のインフォメーション他、毎月病院で配っている紙のインフォメーションの三つがあります。日曜日にはセミナー等で予約診療が早く終わる事がありますので、インフォメーションは月一回は目を通して下さいね!

Q⑩：病院にあるお得な制度って?

A⑩：まず年間予防パスポートがあります。これによって爪切りなどのお手入れ等、様々なお得が毎月あります。予防やフードにはポイントカードがあります。更にフードはサンプルを沢山お配りし、予防薬は何個か毎にエコバック等のオマケや個数のプラス

等があります。春秋の健康診断は恐らく日本でも有数の安さで、更にエコーやレントゲンにおいても割引をしています。病気で無くてもお手入れだけでもしておりますので、お気軽にご参加下さい！

Q11 往診は可能ですか？

A11 一回でも直接来院して頂いた場合には往診をしております。ご案内を留意していただきますので、一度ご覧下さい。基本的には時間は事前に打ち合わせが必要で、また通常診察の進行によってはお待ち頂く場合もあります。移動時間を含め一人当たり三〇〇〇円です。一、二人でお伺いするのが基本です。時間外料金や駐車場代やタクシー代が必要な場合は別途ご請求致します。

Q12 マイクロチップは入れた方がよいですか？

A12 単なる脱走・迷子を含めて、入れていると非常に安心です。京都市では災害時の対応を迅速にする為に、何と年間一〇〇頭のペットに無料での接種(登録料一〇〇〇円だけ自己負担)をしてきています。当院は対応病院ですので、お問い合わせ下さいね。



Q13 安楽死はして貰えますか？

A13 平成二十四年の新聞で安楽死について書いたのですが、「必要な検査をした上で、この子は全く回復の見込みが無く、苦しみを続けるだけだろう」となった時に「家族全員の同意があれば」安楽死を行う事もあります。ですが、文字通りの最終的な救いの手段ですので、お互いによく相談して後悔の無い様にしています。気軽にはできませんので、まずはご相談下さいね！

Q14 高齢でも手術ができますか？

A14 若い子よりも麻酔リスクが上がるのは避けられませんが、術前検査が問題無ければ可能です。また、通常は何か問題が有っても麻酔対応・術後対応をしっかりとすればリスクは減らす事ができます。その子に合わせた手術プランを立てて安全性を高めます。術前だけでなく春秋の定期検査で見守る事をお勧めします。ちなみに肥満も手術リスクが上昇しますので体重管理はしっかりと！

Q15 最近口の臭いが気になりますか？

A15 殆どが歯周病ですが、内臓の病気の事もあります。一度ご来院下さい。最近では口に入れたら溶ける

美味しい錠剤で、口臭の原因菌をやっつける乳酸菌等を補充するサプリメントもあり。また10kg以下の子なら毎日摂取しても半年で2千円台のふりかけタイプもあります。歯が原因の場合、時には麻酔下のスクリーニング・抜歯が必要ですが、その詳しい案内もご用意しています。一、三月には口腔処置の三千円の割引制度もありますよ！

Q16 最近水ばかり飲むのですが、尿量も多い気がします。

A16 暑いとかストレスでも飲水量や排尿量は増えますが、腎不全・糖尿病・ホルモン病・子宮疾患などの病気で増える事が多いので注意が必要です。特に痩せていたり食欲不振等はお早めに来院して下さい。春と秋の健康診断は特にお得なのでお勧めです。とりあえず尿検査だけでもしましょう。尿は可能なら出している中間を衛生的に、かつ量は多めに採取し、早めに持参して下さいね。

Q17 最近体型が変わったかな？

A17 何も症状が無くても体重の変化は重大なサインです。本人に病気が有って痩せる事もあれば(腎臓病・腫瘍・心臓病……)逆に太る事もあります(ホ

ルモン病・関節疾患……)本人は大丈夫で、食事の問題が有る事もあります。一度体重と食事を記録して、病院にご来院下さいね！

Q18 トイレにしょっちゅう行きます。

A18 Q16の多飲多尿の病気で起こりますが、膀胱炎の事もありますが、でも膀胱炎よりもっと怖いのは尿道閉塞です。特にオスで排尿のポーズをしているのに全く出ない時などすぐに来院をしましょう。尿は丸一日出ないだけで腎不全になり死亡する事もあります。様子を見て内臓にペニス(ペニス)を傷つける事も多いので丸1日を限度にご来院下さい。

Q19 救急・夜間対応はしてくれませんか？

A19 基本的には診察時間を大きく外れると難しいです。更に留守番電話のメッセージで「手術中につき対応不可です……」と流れる時は全く対応できません。そうでない場合はお名前・症状連絡のつく電話番号(非通知着信拒否を解除)を入れてお待ち下さい。十分以内に返事が無ければ対応は難しいと思っただけです。京都市と京都市獣医師会が主体となつて作った「京都夜間動物救急センター」が南区上鳥羽にできました！年中無休で

PM九時半〜午前二時対応です。必ず075-693-9912に電話してから来院して下さい。従来からの久御山にも「京都夜間どうぶつ診察所」0774-441-3139があります。(詳しい案内を病院の別のコーナーでしております)

Q20 お薬だけ欲しいんですが……

A20 病気の診断をお話だけで行うのは困難です。処方するのは診察後なのは当然ですが、更に法律上も診察して初めて病気を診断してお薬が出せません。人と違って特別な遠隔治療も認められていません。獣医師法で決まっている事で全ての獣医が守らねばなりません(です)のでネットでの販売は何回も摘発されています。当院で一度診察をしていけば毎回診察をしなくても継続して出す事はできます。ただし定期的な診察はしましょう！ちなみにアニコム保険が通院の無い薬だけの処方保険対象外を決定しました。



〔2015年の手術に関して〕



去年の春に十四歳九か月のビションフリーゼさんが来院されました。元々他院に通っておられて、陰部の中が腫れてきたのですが、外からの検査では何も分からずにお昼に多量に出血したので来院したとお話でした。どうやら何か陰部には有り腫瘍を疑いましたが、それ以上の詳しい検査は希望されずに元の病院に戻られました。その時の検査ではレントゲンの時点で骨盤腔(下腹部の骨盤の中で膀胱や直腸や膣がある所)の中に何かガキツシリと有って癒着しているかも……と言う状態だったので、正直言って年齢から何も希望されないのは仕方ない面もありました。しかし早晩何か大きなトラブルになるのは避けられないだろうな……と、言う感じでした。

つたとの事で次の日に来院されました。夜間の当直の先生とも後でお話しましたが「見た事無い位のヒドイ状態」で本人の頭よりも大きい位の塊が飛び出していました。当然ながら夜間でも当院でも元に戻せない状態……さて一見すると絶望的なのですが、実際に絶望して良いのかは慎重に考えないといけません。

で、良く調べると尿道の開口部はギリギリ大丈夫で、下側に固着している感が乏しいので手術に関しては切除が成功する可能性はあると思われました。後は年齢からも貧血からも本人が耐えられるか？です。もちろん取れたとしても再発リスクも大きかったのですが、手術にご了承頂けました。と、言うかするしか有りません。

さて麻酔が掛かって改めてしっかりと患部を見れましたが、しっかりと見る程に巨大な塊に「これは本当に取れるのか？？」と改めて思いました。そして触れるだけでジワジワと出る出血に対応する為に、塊の上から滅菌手袋をはめてカバーをしようと思った……何とそのカバーの圧力だけで触れた所が裂けて血がピューッと噴出……これは厳しい……(汗)。

しかし当院には高周波ラ

ジオ波メスが有ります！これは切りながら安全に凝固する便利なもので通常の手術でも欠かせません……全然ダメ！最高に凝固するモードにしても触れた瞬間にドクドク血が吹き出ます！

しかし当院にはチストップ(そのままのネーミングです)と云う挟んで止血するピンセットが有ります……！全然ダメ！挟んだ瞬間に沢山裂けて血が……！！

しかし当院にはレーザーレーザーリングが有ります！これはレーザーで高温になったピンセットで一気に凝固させるモノで総額四〇〇万しました……これがダメなら終わりなので、一応この時点でご家族にお電話をして「制御不能の出血多量で亡くなるかも知れないが、この少しの傷で撤退するのか？もう覚悟して思い切って頑張るのか？」を再確認しました。正直言って心のどこかで撤退を求めている気もしますが、普通に考えてこれだけ出血するできものを外にぶら下げて生きられるかと言うと、それも相当厳しいので、その許可・覚悟を頂いた上で危険な道を進む事にしました。

ちよつとずつレーザーレーザーリングをして凝固させると……あ！いける！全然

血が出ません。それでも用心して本当にちよつとつまんで止血しては剥がし……を繰り返して剥がし……最終的に大きな大きな塊がコロコロと取れた時は感動すら覚えました。もちろん大きな穴が開いたんですが、幸いにも深さはそれほどは無く、大きな腫瘍により引き伸ばされて膣の粘膜はすごく余っていたのでしっかりと閉じれました。

後はちゃんと塞がるのか？再発しないのか？術後に弱らないのか？が心配でしたが、無事に元気になってくれました。諦めないで頑張る事がこんなにも大切なんだなと改めて思わせてくれる子でした。実はその前にNARUTOって少年漫画を全部読んでいたのが、結構僕の心の支えになりました(笑)。

普通の不妊手術以外に、こんな手術もしています

- 二〇一五年までに下記の手術をしております。
- 会陰ヘルニア・子宮水腫(猫)・会陰部尿道口ウ(♀)の性転換)・膀胱結石・ヘルニア(横隔膜・ソケイ・臍・腹壁・前恥骨靭帯)・腸切開(異物)・股関節脱臼整復・会陰切開ポリープ切除・後肢断脚・垂直耳道切除・帝王切開・肝臓破裂整復・胆嚢切除・眼球摘出・膀胱憩室整復・卵詰まり取り出し・断指・フィラリア釣り出し・大腿骨骨折修復(タイイン法)・膀胱切除・大腿骨頭切除・前肢断脚・チエリーアイ整復・瞬膜フラップ・角膜放射状切開・ガマ腫切除・胃切開(異物摘出)・脱腸整復・ほほ袋脱出整復又は切除・断尾・陰嚢摘出・腸切除吻合術・骨盤整復・手首の腱の縫合・内視鏡による異物除去・眼瞼腫瘍切除・胆嚢破裂縫合・クライオサージエリー(凍結療法)・顎のう胞・胆のう十二指腸吻合術・前立腺と直腸固定術・脾臓摘出・内視鏡による生検・涙管フラッシュ・レーザーによるICGリポ・レーザー切除等です。



*手術は新しい記録体制も順調で、必ず三人以上の人手をかけ、より安全・清潔・丁寧にできていると思います。本や器具や縫合糸もより良いものを捜して、積極的に導入しています。100%の安全な手術は有り得ませんが、それを目標に頑張ります。



もし病院を拡張したら…… こうしたいな!

そう思って何も決まって無い時からコツコツ考えている事を書いています。
皆さんのご意見も待っています! もちろんスペースがあるので全部はできませんが……。

- ☆待合のスペースを広げる! 間仕切りのあるスペースも作っておく。なるべく犬猫を分ける。
- ☆入院スペースを大きく取って、多人数で落ち着いて面会できる様にする。
- ☆犬猫さんと重症患者さんで入院スペースをできるだけ分ける。
- ☆スタッフルームを診察室・入院室近くに置き、調べ事や会議をし易い様にする。
- ☆待合に飼い主様・ワンちゃん用のトイレをご用意する。
- ☆個室の診察室も用意する。
- ☆薬局を独立させる。
- ☆天井埋め込み式の強力な換気・空気清浄機を入れる。
- ☆病院が広くなくてもLANで情報の連携を取る。

*** ネットでの予約システムは無事に構築できて、順調に稼働しております! ***



ネットでの予約に関して以下のQRコードからネット予約ができます!
アドレスからも可能ですが、少し長いので御注意下さいね。
指名予約の際にはコメント欄に明記して下さいね。



<https://ssl.xaas.jp/s4211592/login/serviceAppoint/index>



★ 毎月のインフォメーション配っています ★

毎月病院スケジュール・イベント・最新商品・注意事項・豆知識等を載せたインフォメーションを新聞とは別に配っています。貰いに来て下さいね。そこに載せる可愛い写真も募集していますよ! また情報量は減りますが、HP掲示とメールでの配信もしています。y@doctor.email.ne.jp に登録希望メールをご送信下さい。更に! 去年からホームページ <http://www11.plala.or.jp/YUU/> のトップページで簡単に休日情報などを毎月案内しておりますので是非ご覧下さい。

イラスト作製: スタッフ全員(サインを採りて下さいね) マンガは院長です。 ※スタッフは元スタッフも含まれます。

病院を 利用しましょう!



もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼い方の相談です。予防というのはワクチンやフィラリアももちろんですが、肥満の管理など飼い方についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。健康手帳にも大事な情報が書いていますので読んで下さいね。

バックナンバー

前回の号に興味がある方はホームページをご覧ください。
何部かは病院に有る場合もあるので受付にもお問い合わせ下さい。
<http://www11.plala.or.jp/YUU/>

■ 病院に対するご要望・意見を待っています ■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。院内にはお礼付きのアンケートもあります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。



〒601-8432
京都市南区西九条東島町 58-103

ゆう動物病院
y@doctor.email.ne.jp